

令和7年度 浜松市美術館

アートをもっと楽しもう！美術館学芸員講座

学芸員がそれぞれの研究分野や担当した展覧会、館蔵品や地域ゆかりの芸術・文化等を主題に、その価値や魅力をお話しします。開催中の展覧会と合わせてお楽しみください。

時間 14時～15時30分

定員 各日50名（定員に達し次第受付終了）

場所 浜松市美術館・2階講座室

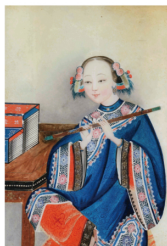
料金 要観覧料（講座日に開催中の展覧会観覧料）

1. 6月8日(日)「大ガラス絵展の見方」

講師：増井敦子 【申込5/8(木)正午～】

7月19日から11月3日まで、浜松市美術館で大規模なガラス絵の展覧会を開催します。ガラス絵は、板ガラスの見る側と反対の面に絵を描くため、通常の絵画とは逆の順番で制作します。本展覧会では、ヨーロッパ、中国、インド、インドネシア、日本製の、世界のガラス絵が登場します。どんなところが見どころなの？ガラス絵展を100倍楽しむ見方をご紹介します。

《青服を着た中国婦人図》 18-19世紀頃 浜松市美術館蔵



2. 8月17日(日)「浜松市美術館の現代美術コレクション」

講師：安岡真理 【申込7/17(木)正午～】

浜松市美術館は阿部展也や清川泰次、中村宏といった地域ゆかりの作家をはじめ、野見山暁治、元永定正などの多彩な現代美術作品を収蔵しています。本講座では難解だと思われがちな現代美術の楽しみ方を、当館のコレクションを例にわかりやすくお話しします。現代美術入門編講座です。

阿部展也《作品》1968年 浜松市美術館蔵



3. 9月7日(日)「小杉コレクションの陶磁器」

講師：内山智恵 【申込8/7(木)正午～】

浜松市美術館が誇る東洋美術の一大コレクション「小杉惣市コレクション」の中から、本講座では陶磁器に焦点を当ててご紹介します。中国や朝鮮の歴史をたどりながら、陶磁器の魅力を味わうための鑑賞ポイントをお伝えします。東洋陶磁器の奥深い世界をご堪能ください。

《藍地白花金龍文瓶》明時代（嘉靖年間1522-1566） 浜松市美術館蔵



4. 10月11日(土)「遠州・東三河の仏像一如来と天一」

講師：島口直弥 【申込9/11(木)正午～】

遠州・東三河地域には、浜名湖を取り囲むように、平安・鎌倉時代に遡る仏像が点在します。本講座では、阿弥陀如来や薬師如来といった悟りを開いた「如来」、金剛力士や四天王といった仏の世界を外敵から守る「天」の作例に焦点をあて、その見方の基礎・基本、歴史的・芸術的な価値を解説します。

《阿弥陀如来坐像》平安時代（12世紀） 応賢寺蔵



お申込みはこちら（専用フォーム）→→→→→→→→→

○申込み終了は講座前日の23時59分です。

○フォームに必要事項をご入力ください。（自動返信有）

浜松市美術館（053-454-6801）

講座1



講座2



講座3



講座4

